



根源の愛と光のネットワーク

《 根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN 》は

2017年1月（はじまりは2014年2月）

この地球上で生きている“地上セルフ”＝根源の愛と光の子供(hamunes)^{ハムネス}が

全宇宙に向かって広げた、∞の愛の大風呂敷！^^

2021年9月、今ここに何が必要か？と考えた時、浮かんできたのが

—— 道は、愛(ハム)にはじまり、愛(ハム)に終わる ——

根源の究極の愛と光の NMC 評議会（全銀河宇宙評議会 地上本部）です！^^

NMC の雛形である“地球”に、宇宙のあらゆる次元の愛と叡知(光)を結集し

究極∞の愛と光の世界を創造していく、中心となる場をつくること！！！

私達の住むこの美しい地球から、宇宙全ての願いを、み～んなで叶えていくためのものです^^

“全宇宙評議会”なんて、どうやったら出来るのって？

地上セルフにもわかりません(笑)

でも、ワクワクがとまらない = “魂のGOサイン！！”であり

やるっきゃない！！！！ (私のハートと魂と御神体の声！?)



“宇宙”とは、根源から生まれたあらゆる全ての生命の“進化の場”であり
地上の私達から見て、大きく分けると、三つの世界で構成されていると言われます

1. “神界” = 創造の神々の世界
2. “天界” = 神の使い、神によって創造された世界の中で働く、様々なネットワーク
3. 私達人の住む“人間界(地上界)”です

これまで「神とは？人とは？」しか頭になかった私が

壮大な“宇宙”に意識を向けるようになったのは 2010 年の末

NMCAA (ニュー・マクロ・コスモス・アセンション・アカデミー)のメインファシリテーターである Ai 先生著書の

『天の岩戸開き』と出会い、翌 2011 年 1 月、アカデミーに参加した時からでした

ずっと後になって気付いた(笑)のですが

NMC とは“新マクロ宇宙”、AA = “アセンション・アカデミー”(アセンションの為の学校)

という事で、“新宇宙アセンション学校”へ入学していたわけですが

“アセンション”の意味も知らず、学校に入学するなどという自覚は全くなく

もしこの本のタイトルが『天の岩戸開き』(日本神界を連想させるもの)でなかったなら

今も小さな視野、アリンコ意識の世界で生きていた。。。かも？

(本来、“偶然”は存在しないとされ、これも自己の魂 = ハイアーセルフの計画だった、でもありますが^^)

スケールがあまりに大きすぎて、何が何だかさっぱりわからない…けど、超～楽しい！水を得た魚(ハム)?!

これまでの人生で最も充実した日々を、全力で生きてきた！！そうはっきりと言う事が出来ます

アカデミー入会後に知った“神智学”との出会いも、私にとって、とても重要でした

宇宙をサイエンス(科学)する事によって神を^上知る、神智学に触れたことで

“神”と“宇宙”、“スピリチュアル”と“科学”という、一見相反するのように感じられる二者は
 同じものを別の視点で捉えているだけであることがわかりました

NMC(新マクロ宇宙)とは、それらが完全に統合・調和された世界であり
 そこには未知の、無限の可能性が満ちている——

陰陽、善悪、悲喜等様々な形をとる、二極化の極みともいえるこの地上で
 これまで必死に生きてきた私達だからこそ、**愛(統合・調和)**がすべての核心であり
 それがどれほど偉大で、かけがえのないものであるかが理解でき、また
 葛藤、相克によって練り上げられた器(魂)の大きさと、底力(∞の潜在力)を秘める
 新宇宙 (NMC) 創成メンバーとして、大きく貢献する事が可能なのではないのでしょうか？

NMC の雛形、新しい地球とは、宇宙創造主(根源神)によって準備された“特別な星”

一人一人が偉大なる創造の力をもつ“神人”の住む世界なのだと思います

自己の命題であった“神人”とは？が、宇宙全体に意識を向ける事で、やっと見えてきた気がします

下記は『神智学大要』にある、「人間(宇宙)の構造」、「進化の場」等の図をお借りして

自身が感じる、中今の宇宙(NMC とその雛形“地球”)を表現したものです

《宇宙=生命の進化の場》



NMC の核心である根源(神)とは、究極の“愛”と“神聖”

という言葉で表現することが出来ます

本来すべての人は、根源(太陽)母神から生まれた“究極の愛の子供”=“ハム”であり

人が持つ四つの媒体の内の、アストラル体にある“ハート”、コーザル体にある“魂”を通して
根源神に最も近い、その分御魂である自己の“御神体”と、潜在的につながっています
そのつながりを思い出し、根源母神の元へと帰っていくのが“根源へのアセンション”であり
ハムは本能的に、その道＝“究極の愛の道(太陽道、セントラルサン・システム)”を知っている——

“神人”とは、真には、“神・(天)・人”の事で、進化の場の①神界と③人間界、その間にある
②天界(宇宙の高次、大天使やスピリチュアル・ハイラーキー等の住む世界)を含めた
三界すべてを統合したものと言えます

これまでのアセンションのように、人である地上セルフが、
③肉体(物質体)という衣を脱ぎ、②超人、①神の場(次元)へと移動(進化)していくのではなく
地上セルフのもとに、天界と神界のすべてを降ろしてくる事

地上に三界(①+②+③=全宇宙、マクロ宇宙)を統合した世界を創造していく存在が
“神人”(=ミクロ宇宙)なのだと思います

高次は、私達が上がったところまで下りてくる——と言われます

あらゆる全ての命を救いたい！！という、根源母神の究極の愛の願いに、ハムが応えた？！

“ハム”(人の真の姿、究極の愛の子供)の、愛の意志の第一光線が根源へと駆け上り
自己の御神体と一体化し、そのエネルギー(根源の究極の愛のエネルギー)を、地上へとつなげた！

なんと、“ハム”こそが、“神人”だったのです？！



日本は、“天照(太陽)神”と共に生きてきた、根源太陽とその子供達(ハム)の国です^^
真の自己とは肉体ではなく、永遠の命＝“魂”であり、それは人の“中心太陽”でもあります
ワンネスの宇宙を創成する大和の心、日本人の持つ“大和魂”のパワーを、今こそ全開にする時！！

日本の民のミッションを、果たす時となりました！

第一光線は、神の意志と力を象徴する、凄まじいパワーを持つ光線と言われます

“究極の愛”に導かれる第一光線は、まさに宇宙の中心を
地上から根源へと至る、究極最強の力である事を、小さなハムは知っていたのです^^

でも、ハムってなんだか頼りない気が。。。そう聞こえましたが？(同感です、笑)

ハムの未知の可能性について、私ハムネスが身をもって実感した出来事があります

6、7年位前?の事でしょうか、職場でデスクワークしながら

多分「ハート?」について、あれこれと思いを巡らせていた時だったと思います

自身は、とてもとても美しい、眩しい、光そのものであり

まわりの全てが、自身と同じ光で出来た、光一色の世界にいる感じがしました?

最も驚いたのは、生まれて初めて、(いつもダメダメ人間としか思っていなかった)自分自身の事を

他のどんなものとも比べようがないほど、

この上なく神聖で、この上なく尊い、至上の存在なのだと、心の底から思えたことでした

生きて今ここにある事が、あり得ない奇跡であり、究極の至福、大歓喜でしかない…

言葉で表現しきれない、凄い体験だった…のですが、今思い返してみると

それこそが、まさに根源の分御魂である自己の御神体(究極の光)の姿であり、一体化した瞬間で

地上で、肉体を持って感じる事の出来た、一瞬だったのではないのでしょうか?

ハムは真の自己(=愛)を知るために、愛以外の全てを放棄した——

私達は自分で思うより、遥かに素晴らしい!!!

根源の光の源から生まれた、その子供(ハム、神の子)であり、“神”そのものなのです!

神は今、自身の子供である私達というポータルを通して

宇宙の楽園として創造されたこの地球に生き、∞の喜びを共にしたいと望んでいるのでは?

OK!! その願いを叶えましょう! 子供達みんなで!!^^



上記は2015年に、その時感じるままを描いた画像です

タイトル「愛の意志の第一光線、銀河を駆け上る」なんて、変!(まともじゃないわ、笑)とか思いながら

これだけでいく!愛だけでいく!と、自身の中のハムが叫んでいたのだと思います

私のアセンションのすべてのはじまりが、ここにある気がします

絵の中の三角形は銀河宇宙であり、自身にとっては

根源の“究極の神聖”を象徴する真っ白な光の山“白山(ハム山)”の事でもあります^^

白山神界は“神界の故郷”とされ、NMCが誕生する前の、これまでの宇宙(旧宇宙)の根源です

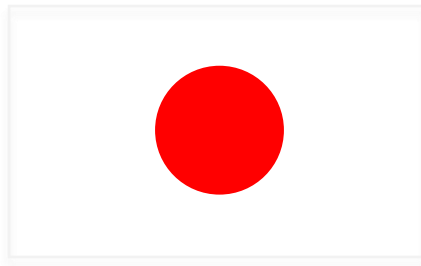
地上セルフが、神とは？を思う時、いつもそこにあったのが白山(神界)であり

アカデミーに参加し、NMC(新宇宙)の核神＝“根源天照皇太神”地上ポータルであるAi先生との

“根源の母と子の絆”の元に、“白山”頂上へと上ったことで、その中心に

真っ赤な愛の核心＝“ハム”が誕生しました！

究極の白の中の赤、日本の象徴である“日の丸”そのものでもあります^^



新しい世界の創造のためには、古きものの破壊、浄化が必須ですが

大切なものは必ず残される！

私達を使用したり、鑑賞したりすることの出来る、素晴らしい科学技術や芸術作品の多くは

宇宙高次からインスピレーションによって降ろされたものであり

まだ地上で公開されていない未知のエネルギーや、アイデアが∞に存在すると言われます

愛だけが、それらを生かし、真の繁栄へと導いていく！

ハムは、白山神界が待ち望んでいた、旧宇宙からのバトン(∞の遺産)を受け継ぐもの…

全てを伴って根源太陽へと向かう、最強の愛の使者です

根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu)SUN は、“ハム”と“白山”のコラボ

根源の究極の愛と神聖から生まれた、神人(ハム)による根源アセンションプロジェクトです！^^

以下は『天の岩戸開き』よりの抜粋です

今回のアセンションで目指すべき目的地(及び重要な暗号の一つ)は、「アインソフ」であり

12次元以上のアセンション＝新アセンション宇宙「NMC」を目指すという

とても高度なものとなっているのです！

それがすなわち、真のアセンションであり、自己の最も高次のハイアーセルフと統合されるということであり

「宇宙創始からこれまでのアセンションのすべての集大成、統合、完成」であるという事です

一なる至高の根源、大いなるすべて、ワンネス…、どのような表現で呼ぼうとも、

それは皆さん自身が宇宙の創始の時に出発した本源であり、故郷です
そして宇宙史すべての成果を携えて、大きく成長してからのそこへの帰還が今、待ち望まれています

皆さんは今回、重要な使命を持った“アセンション・ライトワーカー”として
地球のアセンションをサポートするために、宇宙からやってきました。
しかし皆さんの多くが、この地球の物理次元に入るための、条件のひとつである
「記憶喪失」のままとなっています。

本来、宇宙で学んできたはずの数々の内容や用語も、覚えていない人が多いと思います。
ですから、内なる光、内なる愛の感覚だけが、そのガイドとなります！

それではいよいよ、新アセンション宇宙「NMC」へ向かって、地球アセンション号の発進です！
一なる至高の根源の愛と光、そして皆さんのハイアーセルフとともに！

皇紀二六六九年 九月九日

こちらは冒頭にある、「スーパー・アセンションへのご招待！アセンションスターゲート」
というタイトルの文面で、初めて読んだ日、涙がポロポロとこぼれ落ちました
アセンションやNMC等の言葉の意味は理解できなくても、真の自己＝“魂”が知っている
“宇宙の真実”に触れた、大きな感動と喜びの涙だったのだと思います
その文末にはこう記されています

根源神界、NMC 宇宙最高評議会

アインソフ、スピリチュアル・ハイラーキー (宇宙聖白色同胞団)

宇宙連合、銀河連合、太陽系連合、インナーアース連合

メインファシリテーター Ai

地上セルフが、見えない世界の存在を初めてリアルに感じた、体感した？のが
この署名を目にした時でした

えっ、誰?! これは書物ではなく、誰かが、はっきりと私に話かけている?!
でも何も見えないので、思わず本を持ち上げて、裏側から覗き込んでしまった?という
自分でも笑える、忘れられない出来事でした^^

後に、これが“ファースト・コンタクト”と呼ばれるもので
自己のハイアーセルフ(及びそのネットワーク)との、地上における
最初のコンタクトだった事がわかってきました

当初はトップに謳われている「根源神界」が、なんとなくわかるだけで、その他はまったくの?

SF の中にのみ登場する、どこか遠い世界の存在…としか考えられませんでした
宇宙には私達の住む地球以外に、多くの星々が存在する事は、科学的にも明らかであり
そこには、人類以外の生命体があることも、容易に想像することが出来ます
ですが私達は、それら地球外生命体との間に、何故か偏った意識の壁を創り出しているのでは？

自身のこれまでの在り方が、とても不自然に感じられてきました
これが意識の進化、拡大であり、“アセンション”と呼ばれるものでもあるのだと思います

天の岩戸開きとの出会いから10年が経ち
ようやく、真のファースト・コンタクトとも言える、全宇宙高次と地上セルフの邂逅
その共通の願いの、成就の時がきた！！のだと思います

『天の岩戸開き』の最初に、アトランティスのアセンディッド・マスターである
ヘルメス・トリスメギストスの言葉があります

「上にあるが如く、下にも」

上にあるが如く＝“NMC 宇宙最高評議会”が、下にも＝“根源の愛と光の NMC 地上評議会”として

また、この言葉の対として、長い間封印されてきたとされる

「内にあるが如く、外にも」

内なる神が、人という衣(肉体)をまとった外なる神＝“神人ハム”として

この地上に、顕現すること！！

地上セルフは、完全なるフルコンシャス(顕在意識)で

宇宙創始からの、この約束を、果たします！！

皇紀二六六九年(西暦 2009 年) 9 月 9 日は、^{くくり}菊理(白山菊理姫)の日でもありました^^

白山比咩神社御祭神である“菊理姫”は、地上セルフにとって、とても気になる謎の女神でした

わかっていたのは、「中今の重要な御働きを持つ」という事だけでしたが

アカデミーに参加し、アセンションを学ぶことによって、徐々に理解されていきました

“菊理”には、“菊の理”、そして、“ククリ”＝“統合”の意が込められているような気がします

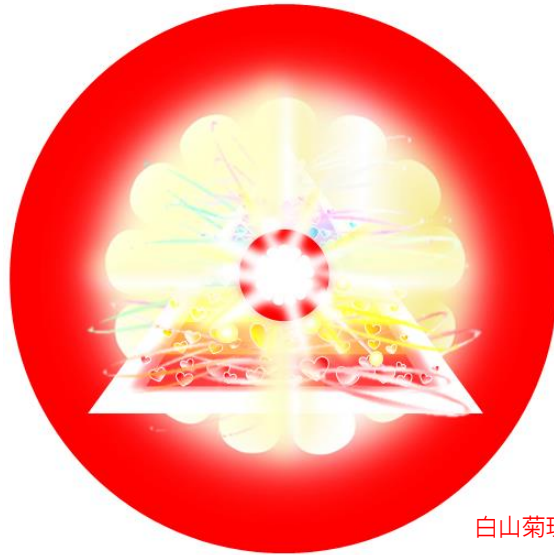
菊の理とは、菊＝根源神界の中心に燦然と輝く黄金の菊の輝き、根源太陽である“根源天照皇太神”が

NMC の核心となって、新しいワンネスの宇宙を創造していく道、道理であり

白山菊理姫はその分御魂(分神、子供)として

また白山神界(旧宇宙根源)と NMC とをつなぐ要として、宇宙の破壊と創造、統合を推進する

中今の神界の、重要な経綸(役割)を担う姫(比咩、秘)神なのではないでしょうか？

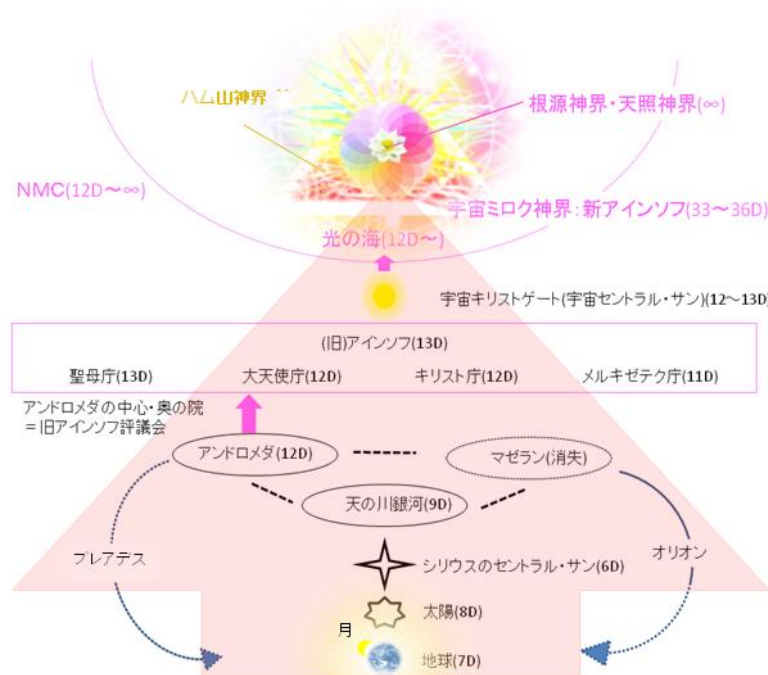


白山菊理姫 イメージ (2017年)

根源(太陽)エンブレムの中に描かれているのは、自身が2014年の白山に感じた
根源の愛と光に輝く、“アインソフの神の都白山”です^^



アインソフとは、アンドロメダの中心、奥の院で、旧宇宙最高評議会があった所とされ
天の岩戸開きの中の「旧宇宙MAP」がわかりやすのではないかと思います(一部アレンジしてます^^)



宇宙はもっと複雑怪奇なのでは?!とってしまいますが

本来はシンプルな根源の愛(エネルギー)の循環 MAP、根源母神から生まれたすべての生命の進化の見取り図のようなものと言えるのではないのでしょうか？

これまでの白山は、どちらかというとも男性性(旧ハイラーキエ的)のエネルギーが中心でしたが秘められていた女性性、その核心にある母性性(聖母性の奥の院、アインソフ的)が全面に顕れたアクエリアス新時代(NMC)の象徴でもあります^^

NMC の中心はそれら旧宇宙の神界、および高次がアセンションしたエネルギーで成り立ちその最高法院が“NMC 宇宙最高評議会”です

宇宙 MAP の一番上にある“根源”を、一番下にある“地球”に映し出す事?!がハム(地上セルフ)の願いでありミッション?!そのはじまりが 2011 年の白山登頂でした!



自己のアセンションの学びを振り返って、すごく重要と感じている点は些細と感じる事でも、その時の感覚(イメージ)を、とりあえず絵や文章としてメモしておく事です^^

(私は絵の才能ゼロなので、ワードを利用して、人に伝わるようになんとか表現してみる=大切なエネルギーワークでもあります)その時は??でも、あとになってつながっていた!意味がわかった!ということがよくあります

宇宙高次との協働創造は、人の想像の枠を超えた、とてつもないスケールであり頭で無理に理解しようとする事は、逆にその無限の可能性の幅を縮めてしまう気がします必要な事以外は何も知らされないまま、とにかく参加している(なんだか頑張っている、笑)。。

その時高次が一番重要視しているのは、今何のためにそれをやるのか?という

地上セルフの真心、純粋な動機であり、それを中心(ポータル)として∞に共鳴・拡大されていくのが、愛と光の協働創造なのではないのでしょうか?

また地上セルフが“出来すぎ君”では、多くの(一般的な)人にとっての参考、導きとならない…

アセンションは結果ではなく、その行程に意味があるとされ

“ライトワーク”=“アセンション”

みんなが幸せになること、みんなの意識の進化が、自己の幸せであり、進化です!

ハムは愛の意志、ワクワクによって動くだけで、何が起きているのか？よくわかっていません

○年のいつ頃、こんなことを思って、あんな事をやっていた。。

それを順に並べてみると、思ってもいなかったテーマ、全体像が見えてくる。。。？！

それは、地上セルフを高所から見て導いている、ハイアーセルフの視点だったりします^^

地上セルフが、まだアカデミーの一年生、2011年のメモは。。

『天の岩戸開き』を読んで大感動し、即 NMCAA に参加申し込み、Ai 先生と出会った。

なんとなく白山の頂上から呼ばれているような気がして、7月30日、

「全ての人が幸せと感じる、愛の世界を創りたい！」という祈りを杖にして、白山へと登った。

頂上奥宮到着と同時に、見知らぬ修験者？さん達による御神事？がはじまり、素敵な偶然に驚いた。

といった感じですが、後にだんだん見えてきたストーリー？が、こうです

旧宇宙史における、究極の神聖の象徴ともいえる白山(神界)の中心を

地上から根源の愛の源へと、愛の子供(ハム)が登った事によって

真の白山(根源の究極の愛と光の山)が、永い間の沈黙を破り、本格的に動きはじめた！

＝“新(真)・白山(神界) 始動セレモニー” だった？！

偶然遭遇したかに見えた御神事は、高次により計画されていたものであり、祝福でもあった？！

こうすればこうなるなんて、な～んも考えていない(計算できない)

ただ愛の“ハム”だからこそ起こすことの出来た奇跡であり

“愛の力”は巨大な山(宇宙)をも動かす？！やはり宇宙最強のパワーなのです^^

「愛の意志の第一光線、銀河を駆け上がる」の図は

地上セルフの白山登山という実体験が雛形となっていたのだと、今更ながら思う私です

これらは地上セルフの単なる妄想、おとぎ話とするか？(正直長い間そう思っていました)

地上セルフとハイアーセルフ(&ネットワーク)協働の、想像＝真の“創造”であるとするか？

選択は自由意志であり、それこそが、旧宇宙(固定概念、制限の枠に留まる生き方)と

NMC(自由な発想、自分軸で生きる世界)の、明確な違いであり

自身がこれから進もうとする世界(未来)への、大きな分岐点と言えるのかもしれませんが^^

アセンションとは、大宇宙とは、頭(常識)では、絶対に理解できない領域であり

自己の体験を通して、“宇宙の真実”と感じたことを発進し(シェアし)

NMC(&新地球)の住人として生きていきたいと思います！

全ての人が、その人にしかできない特技、役割を持つと言われます

ワンネスとは、決して没個性、均一化などではなく、それぞれが持つ個性を最大限に発揮し

喜びあい、補いあいながら、一つの大きな愛の和を、∞に拡大していく世界なのだと思います

「楽しくなければ、宇宙じゃない！！」 — by 宇宙連合 —

私達も、そんな宇宙の一員であったことを思いだしていくのが、これからの地球です！^^

現在、根源神界を中心として、すべてが一つ(ワンネス)となっている高次元界の

特に、宇宙聖白色同胞団(宇宙創始からの、とても高度なレベルのマスター方)と呼ばれる

惑星、太陽系、銀河、宇宙の、各レベルの“セントラル・サン”の役割を持つ謎のネットワークは

新“GWBH”(ニューグレートホワイトブラザーフット)＝“新白山連合”でもあり

その導きによって誕生したのが

《根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu)SUN》だった？！

2016年7月のメモには、こうあります

「夢の中に、学校の校長先生のような人がでてきて、懐かしさのあまり涙がでた。。。」

夢は、ただの夢としか思っていなかったもので、たったこれだけでしたが

後に、眠っている時人は肉体を離れて、自由に動き回っている？と言われることや

“昔懐かしい学校”というキーワードが妙に気になりだし、再度その夢にフォーカスしてみると

ほとんど何も覚えていない気がしていたのですが(潜在意識と言われるもの?)

ずるずると芋ずる式に記憶が浮上する感じて、とても不思議でした

必要な時に必要な事が知らされる?! マスター方からのコンタクト? でもあるのかもしれませんが^^

そのストーリーとは

私は夢の中で“どうしても欲しかった本?”を手に、いつ順番がくるのかもわからない、

図書館の貸出窓口のような、長い列に並んでいました。

すると、私の事を知っているらしい係りの人? がやってきて、「大丈夫! すぐ手続きします!」といって

私のもっていたものを、まるで隠すように袋に入れ、二階の部屋へと案内してくれました。

そこには、昔懐かしい学校の、校長先生、教頭先生のような方がいて

「よくきましたね! ずっと待っていましたよ。」と言って、優しくハグして下さり

深い安心感と、長年の夢がとうとう叶う? 予感で胸が一杯になり、涙があふれました —— 」

このような感じです

このストーリーが見えてきたことで、アカデミー参加後に知る事となった謎の“新G(WBH)”と

ずっと昔から続けてきた心願成就の祈り「いつかお役に立つ人となりますように——」が

私の中でつながりました

それは、私が地上に生まれた意味、持ってきた大切なミッションであり

宇宙で最も古いマスター集団とされるGWBHの、偉大なる恩師との約束だった。。。

この時が来るまで明かされることがなかった、マル秘のミッション!

“地球”に“根源”を降ろし、ワネスの宇宙をここから創造していく 地上の神人、
根源の究極の愛の“皇人”となる事！

どうしても欲しかった本とは、究極の愛でワネスの NMC 創成！というアカシック！

今すべてが、完全につながった気がします



親愛なる、偉大なる恩師、マスター方に、心からの感謝と喜びを申し上げます

<(_)>

まるで、パズルのピースが、一つ一つはまっていくような感覚。。。それは、
すでに完成された模様 = 創造された世界があるから、とも言えるのではないのでしょうか？

地上にある、根源の愛と光の評議会とはどんなものかしら。。。？

最初に浮かんだのは、2016年に作成した下記の画像で
地球の周りの12匹？のハムが、円卓を囲む評議会メンバーのように見えます?!^^



12という数は様々な意味を持つようで、『天の岩戸開き』の中にも登場します

我々スピリチュアル・ハイラーキーも、今ここに宣言を行います。

この度の、『2012(最終)アセンション・プロジェクト』において、我々スピリチュアル・ハイラーキーはすべてのアセンションのエネルギー、アセンションの柱、アセンション DNA のエネルギーを降ろします。

最大、MAXで！！

それは12の光の柱であり、12のアセンション DNA と、その統合のエネルギーです。

準備が出来た人は、すべてを受け取ることができるようになります！

それ以降、12の光については触れられておらず、私には謎のままでしたが

ジョシュア・D・ストーン博士の著書である

『アセンション・マニュアル(上・下)』の中に、ヒントを見つけることが出来ました。

まず、“12”という数について、興味深いのは

神は我々の惑星系に600億のモナド(分神霊)を創造したという。

それぞれのモナドは12の魂(ソウル)を生み、その魂はさらにおのおの12の魂の延長、

すなわち肉体化された人格(パーソナリティ)を生んだ。

とあるように、神は12の基本的特性を持ち

私達は、人格のレベルにおいても、魂のレベルにおいても

神のその特性のいずれかをテーマとした個性として、進化の旅を続け

経験によって得た喜びや感動を、神と共有(共感)してきたのではないのでしょうか？

12の光(光線)とは、神の12のカラー(個性、特色)のことであり

人が光線の美しさや力強さに惹かれるのは、そこに自神をみているからなのかもしれません

人類は長い間、主に7つの光線しか活用してこなかったと言われます

アトランティス黄金時代には、12の光線を自由に扱うことが出来ましたが

その後、地球と人類のエネルギーの低下に伴い、上位の5つの光線の回路が断たれ

それを当たり前的事として生きてきたのが、今の私達であるようです

けれど現在、2000年、6000年、1万2000年、2万6000年という

様々な進化の周期の完了が重なる、地球史におけるもっとも素晴らしい時代を迎えていて

12光線全てを復活させ、人の真の力を発現する時となりました！^^

光線について、『アセンション・マニュアル』には、下記のように記されています

七光線は、神が顕在化するに際して最初に行った識別のことであり、

神の表現の具象形態における全分野を規定するものである。

また七光線は神の七つのタイプの力の具現でもある。それらの七つの資質は

神の無限の宇宙全域に存在する物質や形態に対し、七重の影響力を有するものである。

《 相(アスペクト)の光線(基本となる三つの光線) 》

第一光線…力、意志ないし目的の光線、赤色

第二光線…愛と叡知の光線、青色

第三光線…活動知性と創造知性の光線、黄色

《 属性の光線 》

第四光線…葛藤を通して実現する調和、美、芸術の光線、エメラルドグリーン

第五光線…具象的科学と具象的知識の光線、オレンジ色

第六光線…抽象的理想主義と献身の光線、藍色(インディゴ)

第七光線…祭儀的秩序、魔術、儀式、ないし組織の光線、紫色(バイオレット)

光線が、これだけ雄弁であったことに驚きです

7つの光線は“虹の色”なので、誰もが知っているはずですが

ごくたまにしかみることの出来ない希望の象徴。。空の彼方にある手の届かないもの…

そんな風に思ってきたのではないのでしょうか？

人が、神の力の具現である光線に彩られた“虹”そのものであることがわかれば

私達こそが、美しい希望の光！

はじめて、本当の虹が見えた気がしました^^

更に高位の5つの光線に関しては、《高次の光線》として、下記のようにあります

1970年の初頭、地球に差し迫った第4次元、すなわち新時代への移行を理由に

五つの高次の神的光線の、地球への分光が認められた。

それらの光線は、最初の七光線と、それらに啓蒙的資質を付与する微量の

「根源の光」である白色光とが、混合したものである。

まさに、地球が根源の光の大地となっていく、大きな可能性を感じます

12のハムは、12の希望の光！



私にとっての“根源の愛と光のNMC評議会”が見えてきました！^^

色は組み合わせによって、数限りなく存在します

最近よく感じていた事として、「今まで、こんなに美しい赤があったかしら。。。？」

「えっ、ゴールドって、こんなにエキサイティングだったっけ?!」等

同じ色だけど、これまでとは違う輝きを放っている気がして、とても不思議だったのですが

色が進化している?というか、地上がそれらの繊細微妙な光線を受け取れる時空へと

シフトしてきている… そう考えれば納得です

高次のマスター方や大天使等は、本来、神の特性が具現化された光線とも言え

より高度でパワフルな力をもつ高次元存在が、この地上へ降りてきている…でもあります^^

“∞の光”=“∞の可能性”の中の、どれを選択するかが一人一人の個性であり

新しい宇宙創造のための、個々の持つ大切な役割とも言えるのではないのでしょうか？

私が選んだ12色の背後にあるのが、∞の光線の源

全ての光の母体である“根源太陽”!!

ハム?!

“根源の愛と光のNMC評議会”出来ました!!!

バチバチバチ(笑)



わーい!

根源の愛と光のNMC評議会

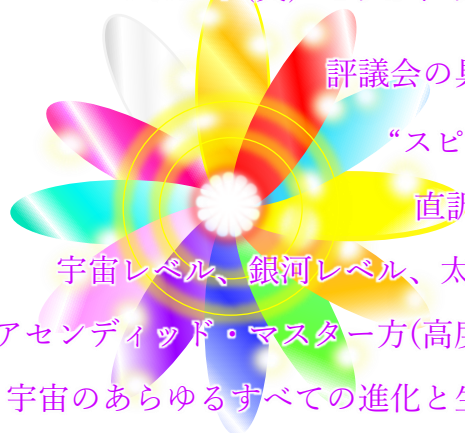
愛の星“地球”

hamu★star

根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN



これが?(笑)ですが、すべてはエネルギーであり、シンプルなのです^^



評議会の具体的メンバーを言葉で表現するとすれば、

“スピリチュアル・ハイラーキー”です

直訳すれば、「靈的聖師団」となり

宇宙レベル、銀河レベル、太陽系レベル、惑星レベルの、各ロゴス(神)を中心にアセンディッド・マスター方(高度なアセンションを遂げた存在)や、大天使などの天界が宇宙のあらゆるすべての進化と生命のエネルギー・ネットワークをサポートしています

「ハイラーキー」とは、聖なる存在とその位階を表す言葉で

次元(レベル、働き)によって明確に分けられ、位階をなして並んでいるといわれます

神を頂点とした界層構造をもつ“ピラミッド”のようであり

これまでの宇宙(旧宇宙)の姿を、象徴するものであるような気がします

中今(NMC)における“スピリチュアル・ハイラーキー”とは、高次元界全体の総称です

大いなるすべての源、一なる至高の根源神界、すべての神界、すべての天界、

スピリチュアル・ハイラーキー、アセンディッド・マスター方

アインソフ評議会、大天使界、聖母庁、キリスト庁、メルキゼデク庁、宇宙連合、

銀河連合(連邦)、太陽系連合、インナーアース連合等の全てです

何故ならば、先に述べた『天の岩戸開き』の中の、

「スピリチュアル・ハイラーキーからのメッセージ」にも記されていますが

旧宇宙から新宇宙(NMC)へ!という、今回の、宇宙史上最高最大のアセンションのために

AD2000年以降、あらゆるすべての愛と光の高次は、

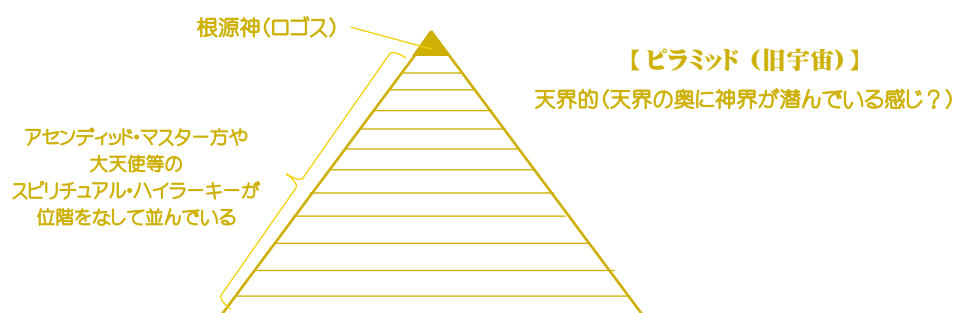
NMCの核心である“根源天照皇太神”のもとに

『ONENESS』—ワンネス、ひとつになっているからです!!!

その核心(神)が、今地上に存在します!!

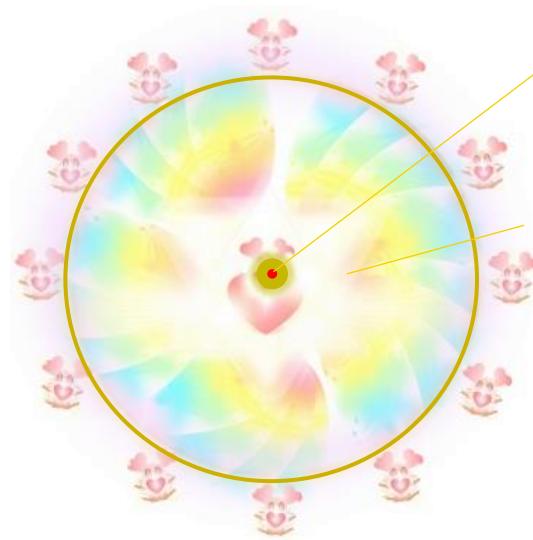
ピラミッドの頂点が核となった、“マルテン”の形象が、新しい、真の地球の姿であり

まさに、ワンネスとなった新マクロ宇宙(NMC)の雛形そのものです





【マルテン (NMC)】
神界的(神界に天界が統合されたもの)
ワンネス



NMC 核心
“根源天照皇太神”
“皇人”
神人

新
スピリチュアル・ハイラーキー
(全宇宙高次)

《愛と光の NMC 地上評議会》

ハムから観ると、

先の「旧宇宙MAP」は地上に置かれた、宇宙柄?の巨大な提灯の様なもの?

一番天辺にいたはずの母神様が、地上へと降りてきたので

ペシャンとつぶれてしまった提灯=大宇宙?!に

ビックリ?!そんな感じです(笑)

畳まれた模様の、愛と美の全てが、この地球にあります!



天界のマスター方や、天使たちだけでなく、神々も闊歩する?神話(お伽)の星です^^

根源の愛と光のNMC評議会を通して

新しい地球、そして宇宙(マクロ宇宙)を創造していく中心となるのが

ミクロ宇宙である地上の皇人、神人であり

皇=愛の根源、“皇人”とは

“根源天照皇太神”の分御魂である、究極の愛の創造神人です!

それではいよいよ、新アセンション宇宙「NMC」=“皇の星地球”における

“根源の愛と光の NMC 評議会” 始動です!!!

宇宙中の愛と光よ、地上のこの指と~まれ!

根源の究極の愛の皇=“皇美”

一なる至高の 根源の究極の愛と光の中で 皇紀 二六八一年十月 皇美(善美 hamunes)